2023　年度　授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科　目　区　分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科　目　名	解剖学Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	前期	教室名	
担 当 教 員	川内秀之	実務経験とその関連資格	医師として病院に勤務			

《授業科目における学習内容》

人体の構造と機能について系統的に各器官の位置関係、形状、内部構造、そして器官の機能、人体における役割を学ぶ。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験(100%)で評価する。

《使用教材(教科書)及び参考図書》

系統看護学講座　専門基礎分野　解剖生理学　医学書院
系統看護学講座準拠　解剖生理学ワークブック

《授業外における学習方法》

解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。

《履修に当たっての留意点》

解剖生理学ワークブックを事前にしておいて下さい。講義範囲はテキストを読んでおいて下さい。講義終了毎に確認テスト又は小レポート提出があります。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	自律神経の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	1. 自律神経の構造と機能		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経の構造について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	2. 神経の構造		
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	3. 脊髄の構造と機能		
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳の構造と機能について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	4. 脳の構造と機能		
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄神経と脳神経について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	5. 脊髄神経と脳神経①		

授業の方法				使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	脊髄神経と脳神経について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	6. 脊髄神経と脳神経②		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	運動機能と下行伝導路について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	7. 運動機能と下行伝導路		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	感覚機能と上行伝導路について説明できる	解剖生理学 解剖生理学ワークブック 人体模型 AV機器	解剖生理学ワークブックを用いて予習・復習を行う。 確認テストまたは小レポート
		各コマにおける授業予定	8. 感覚機能と上行伝導路		